

二〇二四年度

群馬県立女子大学文学部国文学科

外国人留学生特別選抜

専門科目試験 問題・解答用紙

(注意事項)

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子きつしを開かないこと。
- 2 試験時間は、午前十時～十一時四十分(一〇〇分)です。
- 3 解答は、すべてこの問題冊子の指定された箇所かしよに書きなさい。
- 4 試験開始直後に、指定の箇所に受験番号と氏名を記入すること。

受 験 番 号				

氏 名

問題一

次の①～⑩の作品名または作者名を、それぞれ後の語群ア～ソから選んで、その記号を（ ）に書きなさい。

- | | |
|----------------------------------|-------|
| ① 日本最初の和歌集は何ですか。 | (①) |
| ② 日本最初の漢詩集は何ですか。 | (②) |
| ③ 平安時代の物語である『源氏物語』の作者は誰ですか。 | (③) |
| ④ 鎌倉時代の随筆である『方丈記』の作者は誰ですか。 | (④) |
| ⑤ 「祇園精舎の鐘の声」で始まる、鎌倉時代の軍記物語は何ですか。 | (⑤) |
| ⑥ 江戸時代の随筆である『玉勝間』の作者は誰ですか。 | (⑥) |
| ⑦ 江戸時代の俳句俳文集である『おらが春』の作者は誰ですか。 | (⑦) |
| ⑧ 明治時代の小説である『破戒』の作者は誰ですか。 | (⑧) |
| ⑨ 大正時代の小説である『明暗』の作者は誰ですか。 | (⑨) |
| ⑩ 昭和時代の詩集である『二十億光年の孤独』の作者は誰ですか。 | (⑩) |

【語群】

ア	上田秋成	イ	小林一茶	ウ	山家集	エ	谷川俊太郎	オ	夏目漱石
カ	紫式部	キ	松尾芭蕉	ク	宮澤賢治	ケ	万葉集	コ	鴨長明
サ	平家物語	シ	懷風藻	ス	本居宣長	セ	島崎藤村	ソ	竹取物語

(問題二は、次のページです。)

問題二

次の文章は平安時代に成立した日記文学『土佐日記』の一節です。よく読んで後の問いに答えなさい。

家に到りて、門に入るに、月明ければ、いとよく有様見ゆ。聞きしよりもまして、いふかひなくぞ、こぼれ破れたる。家にa預けたりつる人の心も、b荒れたるなりけり。中垣こそあれ、一つ家のやうなれば、望みて預かれるなり。さるは、便りごとに物も絶えず得させたり。今宵、①かかること」と、声高にも言はせず。いとはつらく見ゆれど、c志はせむとす。

さて、池めいて窪まり、水つけるところあり。ほとりに松もありき。五年六年のうちに、千歳や過ぎにけむ、かたへはなくなりけり。今生ひたるぞまじれる。おほかたの、みな荒れにたれば、「あはれ」とぞ、人々言ふ。思ひ出でぬことなく、思ひ恋しきがうちに、この家にて生まれし女子の、もろともに帰らねば、いかがは悲しき。船人も、みな子たかりて②ののしる。かかるうちに、なほ、悲しきに堪へずして、ひそかに心知れる人と言へりける歌、

③生まれしも帰らぬものをわが宿に小松のあるを見るが悲しさとぞいへる。なほ、飽かずやあらむ、また、かくなむ、

見し人の松の千歳に見ましかば遠く悲しき別れせましや

忘れがたく、d口惜しきこと多かれど、④え尽くさず。とまれかうまれ、⑤とく破りてむ。

(注1) こぼれ破れたる 二こわれたり破れたりしている

(注2) 家に預けたりつる人の心も 家を預けておいた人の心も

(注3) 便りごとに 二便りがあるたびに

(注4) 水つけるところ 二水がたまっているところ

問一 傍線部 a 「預」、b 「荒」、c 「志」、d 「口惜」の読みを現代かなづかいで答えなさい。

a () () b () () c () () d () ()

問二 傍線部 ②「ののしる」④「え尽くさず」⑤「とく」を現代のことばに訳しなさい。

② () () ④ () () ⑤ () ()

問三 傍線部 ①「かかること」の指示内容を簡略に答えなさい。

() ()

問四 傍線部 ③「生まれしも帰らぬものを」を現代のことばに訳しなさい。

() ()

問題三

「コミュニケーションの手段ではない言語」について、あなたの考えを述べなさい。字数は五〇〇字以上六〇〇字以内とします。